

区市町村名 \_\_\_\_\_

# 1 検査方法及び対象

【検査方法及び対象】 実際に実施されている一次検診の検査方法

<p>一次検診の検査方法について、実施されているものをチェックし、その対象を記入してください。(複数回答可)</p>	
胃がん	<p>胃部エックス線検査のみ 〔がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針に基づく検査方法 (以下、指針に基づく検査方法)〕 対象: { }</p>
	<p>その他 (検査方法名: ) 対象: { }</p>
	<p>その他 (検査方法名: ) 対象: { }</p>
肺がん	<p>胸部エックス線検査及び喀痰細胞診の併用 ( 1 ) 〔指針に基づく検査方法〕 対象: { }</p>
	<p>その他 (検査方法名: ) 対象: { }</p>
	<p>その他 (検査方法名: ) 対象: { }</p>
大腸がん	<p>便潜血検査(二日法)のみ〔指針に基づく検査方法〕 対象: { }</p>
	<p>その他 (検査方法名: ) 対象: { }</p>
	<p>その他 (検査方法名: ) 対象: { }</p>

区市町村名 \_\_\_\_\_

乳がん	マンモグラフィ及び視触診の併用 ( 1 ) [ 指針に基づく検査方法 ] 対象: { _____ }
	その他 ( 検査方法名: _____ ) 対象: { _____ }
	その他 ( 検査方法名: _____ ) 対象: { _____ }
子宮がん	頸部擦過細胞診のみ [ 指針に基づく検査方法 ] ( 頸部及び体部を実施している場合はそのうちの頸部を記入 ) 対象: { _____ }
	その他 ( 検査方法名: _____ ) 対象: { _____ }
	その他 ( 検査方法名: _____ ) 対象: { _____ }

対象：例：40 歳以上女性

50 歳以上

節目年のみ ( 40 歳・45 歳・50 歳・55 歳・60 歳 ) 等

1 併用：

肺がん：「胸部エックス線検査及び喀痰細胞診の併用」

胸部エックス線検査と喀痰細胞診が検診メニューにあり、問診の結果、  
喀痰細胞診必要と認められた者は胸部エックス線検査と喀痰細胞診を、認  
められなかった者は胸部エックス線のみを受診する場合、結果は共に「胸  
部エックス線検査及び喀痰細胞診の併用」に記入

「胸部エックス線のみ」

胸部エックス線検査のみ検診メニューにあり、喀痰細胞診の受診機会が  
ない場合、結果は「胸部エックス線検査のみ」として記入

「喀痰細胞診のみ」

喀痰細胞診のみ検診メニューにあり、胸部エックス線検査の受診機会が  
ない場合、結果は「喀痰細胞診のみ」として記入

乳がん：「マンモグラフィ及び視触診の併用」

受診者全員がマンモグラフィと視触診を受ける場合に記入

「視触診のみ」

受診者全員が視触診のみを受ける場合に記入

区市町村名 \_\_\_\_\_

<参考> 各検診の推奨レベル

〔胃がん検診の推奨レベル〕

(有効性評価に基づく胃がん検診ガイドラインより抜粋)

- ・胃部エックス線検査：対策型検診( 2)として勧める。
- ・胃内視鏡検査：対策型検診として実施することは勧められない。
- ・ペプシノゲン検査：対策型検診として実施することは勧められない。
- ・ヘリコバクターピロリ抗体検査：対策型検診として実施することは勧められない。

〔肺がん検診の推奨レベル〕

(有効性評価に基づく肺がん検診ガイドラインより抜粋)

- ・非高危険群に対する胸部エックス線検査、及び高危険群に対する胸部エックス線検査と喀痰細胞診併用法：対策型検診( 2)として勧める。  
ただし、死亡率減少効果を認めるのは、二重読影、比較読影などを含む標準的な方法を行なった場合に限定される。
- ・低線量CT(胸部CT)：対策型検診として実施することは勧められない。

〔大腸がん検診の推奨レベル〕

(有効性評価に基づく大腸がん検診ガイドラインより抜粋)

- ・便潜血検査(化学法・免疫法)：対策型検診として勧める。
- ・S状結腸鏡検査：集団を対象として実施することは勧められない。
- ・全大腸内視鏡検査：集団を対象として実施することは勧められない。
- ・注腸エックス線検査：集団を対象として実施することは勧められない。

〔乳がん検診の評価〕

(新たながん検診手法の有効性の評価より抜粋)

- ・視触診とマンモグラフィの併用：死亡率減少効果があるとする相応の根拠がある。
- ・視触診単独：死亡率減少効果がないとする相応の根拠がある。
- ・超音波検査(エコー)：今後その妥当性を明らかにする必要がある。

〔子宮がん検診の評価〕

(新たながん検診手法の有効性の評価より抜粋)

- ・ヒトパピローマウイルス検査(HPV)：今後、HPV検査法の精度、死亡率減少効果、経済効果についての評価が必要である。

2 対策型検診：老人保健事業による市町村の住民検診(集団・個別)

区市町村名 \_\_\_\_\_

## 2 受診率

### 【受診率】 検診対象者のうち、実際の受診者の割合

- ・ 検診対象者数は、40 歳以上の人口（乳がんは 40 歳以上の女性人口、子宮がんは 20 歳以上の女性人口）に対象人口率（結果入力シート参照）を掛けて計算する。
- ・ 受診率は高いことが望ましい。

参考：《計算式》受診率（胃がん、肺がん、大腸がん）

$$= \frac{\text{受診者数}}{\text{検診対象者数}} \times 100$$

（検診対象者数 = 40 歳以上の人口 × 対象人口率）

受診率（乳がん、子宮がん）

$$= \frac{(\text{前年度受診者数} + \text{当該年度の受診者数} - \text{前年度及び当該年度における 2 年連続受診者数})}{\text{検診対象者数}} \times 100$$

（検診対象者数 = 乳がんは 40 歳以上の女性人口、子宮がんは 20 歳以上の女性人口 × 対象人口率）

この数字は必ず入れてください。

胃がん (全国平均%)	胃部エックス線検査のみ 受診率 _____% (入力シート：胃がん：B 30 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 受診率 _____% (入力シート：胃がん：B 62 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 受診率 _____% (入力シート：胃がん：B 94 転記)
肺がん (全国平均%)	胸部エックス線検査及び喀痰細胞診 受診率 _____% (入力シート：肺がん：B 29 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 受診率 _____% (入力シート：肺がん：B 60 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 受診率 _____% (入力シート：肺がん：B 91 転記)

区市町村名 \_\_\_\_\_

大腸がん (全国平均%)	便潜血検査(二日法) 受診率 _____% (入力シート:大腸がん: B 29 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 受診率 _____% (入力シート:大腸がん: B 60 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 受診率 _____% (入力シート:大腸がん: B 91 転記)
乳がん (全国平均%)	マンモグラフィ及び視触診の併用 受診率 _____% (入力シート:乳がん: B 29 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 受診率 _____% (入力シート:乳がん: B 60 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 受診率 _____% (入力シート:乳がん: B 91 転記)
子宮がん (全国平均%)	頸部擦過細胞診のみ 受診率 _____% (入力シート:子宮がん: B 33 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 受診率 _____% (入力シート:子宮がん: B 68 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 受診率 _____% (入力シート:子宮がん: B 103 転記)

例:(入力シート:胃がん: B 30 転記)

入力シート(エクセル) 胃がんシート、B列、30行の「受診率」を転記

区市町村名 \_\_\_\_\_

《 受診率の分析に当たり必要な集計作業 》

( 1 ) 検診対象者

検診対象者について次のような集計をしていますか。実施している項目をチェックしてください。

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ・ 対象者の網羅的な名簿を住民台帳などに基づいて作成
- ・ 対象者に均等に受診勧奨を行っている。

( 2 ) 受診者の情報管理

受診者について次のような集計をしていますか。実施している項目をチェックしてください。

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ・ 受診者数を性別且つ年齢階級別（5歳きざみ）に集計
- ・ 受診者別の受診（記録）台帳又はデータベースの作成
- ・ 受診者数を検診実施機関別に集計
- ・ 受診者数を過去3年間の受診歴別に集計
- ・ 個人別の過去3年間の受診歴を記録
- ・ **2年連続受診者の集計**

：検診実施機関が1つの場合もチェックしてください。

《 受診率の分析 》

以下の質問にお答えください。

胃 肺 大腸 乳 子宮

( 1 ) 受診率が全国平均以上である。

P 8 要精検率へ

( 2 ) 受診率が全国未満である。

( 3 ) へ

- ( 3 ) {
- 年齢階級別に、受診率が低い年齢階級がある  
(入力シート：各がん：「(当該年度)受診者数」参照)。  
対策(1)へ
  - 地域別に、受診率が低い地域がある。  
対策(1)へ
  - 年齢階級、地域によって、受診率に違いはない。  
対策(2)へ
  - その他 ( )

区市町村名 \_\_\_\_\_

《 受診率が低い場合の対策を記入してください。 》

対策（１） 受診率が低い集団に対する対策が必要です。

* 具体的対策について実施予定の施策を記入してください。また、下段には対策として東京都や都保健所に求めることなどを記入してください。				
胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん

対策（２） 受診率向上に向けた全体的な対策が必要です。

* 具体的対策について実施予定の施策を記入してください。また、下段には対策として東京都や都保健所に求めることなどを記入してください。				
胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん

区市町村名 \_\_\_\_\_

### 3 要精検率

【要精検率】 がん検診受診者のうち、精密検査が必要とされた者の割合

- ・ 検診受診者の有病率が高ければ要精検率も高くなり、有病率が低ければ要精検率も低くなる。
- ・ また、検診において、要精検率が高い場合には、精密検査が必要でない者が「要精検」と判断されている可能性があり、逆に要精検率が低い場合にはがんを早期かつ適切に発見できていない可能性がある。

参考：《計算式》 要精検率（胃がん、肺がん、大腸がん）

$$= \text{要精検者数} / \text{受診者数} \times 100$$

要精検率（乳がん、子宮がん）

$$= \text{当該年度の要精検者数} / \text{当該年度の受診者数} \times 100$$

この数字は必ず入れてください。

胃がん (許容値 1 : 0%)	胃部エックス線検査のみ 要精検率 _____% (入力シート：胃がん：C 30 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 要精検率 _____% (入力シート：胃がん：C 62 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 要精検率 _____% (入力シート：胃がん：C 94 転記)
肺がん (許容値 3 : 0%)	胸部エックス線検査及び喀痰細胞診の併用 要精検率 _____% (入力シート：肺がん：C 29 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 要精検率 _____% (入力シート：肺がん：C 60 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 要精検率 _____% (入力シート：肺がん：C 91 転記)
大腸がん (許容値 7 : 0%)	便潜血検査（二日法） 要精検率 _____% (入力シート：大腸がん：C 29 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 要精検率 _____% (入力シート：大腸がん：C 60 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 要精検率 _____% (入力シート：大腸がん：C 91 転記)



区市町村名 \_\_\_\_\_

乳がん (許容値 11.0%)	マンモグラフィ及び視触診の併用 要精検率 _____% (入力シート：乳がん：C 29 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____) 要精検率 _____% (入力シート：乳がん：C 60 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____) 要精検率 _____% (入力シート：乳がん：C 91 転記)
子宮がん (許容値 1.4%)	頸部擦過細胞診のみ 要精検率 _____% (入力シート：子宮がん：C 33 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____) 要精検率 _____% (入力シート：子宮がん：C 68 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____) 要精検率 _____% (入力シート：子宮がん：C 103 転記)

《 要精検率の分析に当たり必要な作業 》

(1) 集計作業

要精検者について次の集計を行っていますか。実施している項目にチェックしてください。

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ・ 要精検率を日頃より集計
- ・ 要精検率を性別且つ年齢階級別に集計
- ・ 要精検率を検診実施機関別に集計

： 検診実施機関が 1 つの場合もチェックしてください。

区市町村名 \_\_\_\_\_

(2): 検査の精度管理

胃部エックス線の精度管理

この項目については、今回、調査を実施する医療機関についての情報のみを記入してください。(「事業評価のための点検表」(検診実施機関用)から記入する。)

胃部エックス線検査について次の点を記入してください。

ア) 撮影の精度管理

- ・撮影機器の種類(直接・間接・DR撮影、イメージ・インテンシファイア(I.I.)方式等)を明らかにしている。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

- ・撮影枚数は最低7枚としている。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

- ・撮影の体位及び方法は日本消化器がん検診学会の方式によるものとしている。(3)

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

- ・造影剤の使用に当たっては、その濃度を適切に(180~220W/V%の高濃度バリウム、120~150mlとする)保つとともに、副作用等の事故に注意している。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

- ・撮影技師は撮影に関する日本消化器がん検診学会の研修を修了し、同学会の認定取得を目標としている。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

イ) 読影の精度管理

- ・読影は、原則として十分な経験を有する2名以上の医師(うち1人は日本消化器がん検診学会認定医)によって行っている。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

- ・2名の医師の読影結果に応じて過去に撮影した胃部エックス線写真と比較読影している。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

- ・胃部エックス線写真は少なくとも3年間は保存している。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

3 新・撮影法・変法、直接撮影法、DR(Digital Radiography)及びFPD(Flat Panel Detector)による撮影法は、日本消化器がん検診学会発行、新・胃X線撮影法(間接・直接)ガイドライン(2005)を参照

記入例:

- ・読影は、十分な経験を有する2名以上の医師(うち1人は日本消化器がん検診学会の認定医)が行っている。

満たしている機関数/検診実施機関数 = 4 機関 / 5 機関

回答のあった機関のうち  
チェックのあった機関数

調査を依頼した全医療機関数

区市町村名 \_\_\_\_\_

-1：肺がん胸部エックス線精度管理

この項目については、今回、調査を実施する医療機関についての情報のみを記入してください。（「事業評価のための点検表」（検診実施機関用）から記入する。）

撮影方法

- ・間接撮影 検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関      ア) へ
- ・直接撮影 検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関      イ) へ
- ・デジタル撮影 検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関      ウ) へ

胸部エックス線検査について次の点を把握していますか。

ア) 間接撮影

- ・間接撮影であって、100mm ミラーカメラを用い、定格出力 150kv の撮影装置を用いた、120kv 以上の管電圧による撮影である。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

- ・間接撮影であって、定格出力 125kv の撮影装置を用い、110kv 以上の管電圧により、縦隔部の感度を肺野に対して高めるための希土類（グラデーシオン型）蛍光板を用いた装置である。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関



エ) へ

イ) 直接撮影

- ・直接法であって、被験者 管球間の距離を 1.5m 以上とし 120kv（やむを得ない場合は 100～120kv でも可）の管電圧及び希土類システム（希土類増感紙及びオルソタイプフィルム）を用いた撮影である。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関



エ) へ

ウ) デジタル撮影

- ・デジタル方式で高圧撮影（120kv 以上）である。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関



エ) へ

区市町村名 \_\_\_\_\_

エ) 撮影全般及び読影の精度管理

- ・胸部エックス線写真が肺尖、肺野外側縁、横隔膜、肋骨横隔膜などを十分に含むようなエックス線写真であって、適度な濃度とコントラスト及び良好な鮮鋭度をもち、縦隔陰影に重なった気管、気管支の透亮像並びに心陰影及び横隔膜に重なった肺血管が観察できるものである。  
 満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関
- ・2名以上の医師が同時に又はそれぞれ独立して読影しており、このうち1名は十分経験の有する医師(日本呼吸器学会、日本放射線学会等の専門医、指導医、日本肺癌学会、等を示します。)である。  
 満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関
- ・比較読影(4)を行っている。  
 満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

検診実施機関数は調査実施機関数を入れてください。

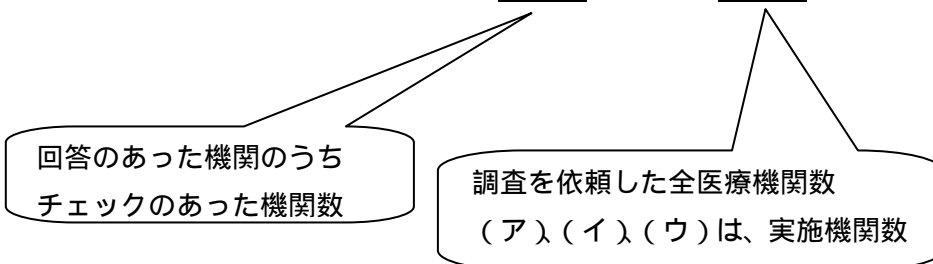
4 二重読影の結果、「肺癌集団検診の手引き」(日本肺癌学会集団検診委員会編)の「肺癌検診における胸部エックス線。写真の判定基準と指導区分」の「d」及び「e」に該当するものについて行うもので、地域の実情に応じて次のいずれかの方法で行う。

- 1 読影委員会等を設置して比較読影を行う。
- 2 二重読影を行った医師がそれぞれ比較読影を行う。
- 3 二重読影を行った医師のうち、指導的立場の医師が比較読影を行う。

記入例：

- ・比較読影(4)を行っている。

満たしている機関数/検診実施機関数 = 4 機関 / 5 機関



区市町村名 \_\_\_\_\_

-2：肺がん喀痰細胞診精度管理

この項目については、今回、調査を実施する医療機関についての情報のみを記入してください。（「事業評価のための点検表」（検診実施機関用）から記入する）

実施形態について

- ・ 喀痰細胞診を他の検査機関に委託している。

委託している機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

喀痰細胞診について

- ・ 対象者は、問診の結果、原則として「50歳以上で喫煙指数（1日本数×年数）600以上の者（過去における喫煙者を含む）」、「6か月以内に血痰のあった者」のいずれかに該当する事が判明した者である。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

備考（対象者について独自に規定している場合はその内容をお書きください）：

- ・ 検診者に有効痰の採取方法を説明し、保存液の入った喀痰採取容器を配布し、喀痰を採取している。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

- ・ 喀痰は、起床時の早朝喀痰を原則とし、最低3日の蓄痰、又は3日の連続採痰としている。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

- ・ 採痰容器の回収を徹底している。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

検診実施機関数は調査実施機関数を入れてください。

記入例：

- ・ 採痰容器の回収を徹底している。

満たしている機関数/検診実施機関数 = 4 機関 / 5 機関

回答のあった機関のうち  
チェックのあった機関数

調査を依頼した全医療機関数

区市町村名 \_\_\_\_\_

-3：肺がん喀痰細胞診精度管理

この項目については、今回、調査を実施する医療機関または検査委託機関についての情報のみを記入してください。（「事業評価のための点検表」（検診実施機関又は検査委託機関用）から記入する。）

喀痰細胞診について

- ・ホモジナイズ法又は蓄痰直接塗沫法を行い、パパニコロウ染色をしている。  
 満たしている機関数/検査実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関
- ・十分な経験を有する医師及び臨床検査技師（日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医及び細胞検査士等）が検査を行っている。  
 満たしている機関数/検査実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関
- ・同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングされている。  
 満たしている機関数/検査実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関
- ・喀痰細胞診の結果の判定は、「肺癌集団検診の手引き」（日本肺癌学会集団検診委員会編）の「集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分」によって行われている。  
 満たしている機関数/検査実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

検診実施機関数は調査実施機関数又は検査委託機関数を入れてください。

記入例：

- ・ホモジナイズ法又は蓄痰直接塗沫法を行い、パパニコロウ染色をしている。  
 満たしている機関数/検査実施機関数 = 4 機関 / 5 機関

回答のあった機関のうち  
チェックのあった機関数

調査を依頼した全医療機関数

区市町村名 \_\_\_\_\_

-1 大腸がん検体の取扱い

この項目については、今回、調査を実施する医療機関についての情報または、区市町村が実施している場合は、その情報を記入してください。

(医療機関実施の場合「事業評価のための点検表」(検診実施機関用)から記入する。)

検体について次のような取扱いをしていますか。

- ・初回の検体は、採便後に検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するように受診者に指導している。

医療機関が実施している

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

区市町村が実施している

- ・二回目採便の翌日までに、受診者から検体を回収することを原則としている

医療機関が実施している

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

区市町村が実施している

- ・受診者から検体を回収してから自施設で検査を行うまでの間あるいは検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存している。

医療機関が実施している

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

区市町村が実施している

- ・検体回収後、即日、検査施設又は検査委託機関へ引き渡している。

医療機関が実施している

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

区市町村が実施している

医療機関が実施している場合にチェックし、  
実数値を以下に記入

記入例：

- ・検体回収後、即日、検査施設又は検査委託機関へ引き渡している。

医療機関が実施している

満たしている機関数/検診実施機関数 = 4 機関 / 5 機関

区市町村が実施している

区市町村が実施している場合にチェック

回答のあった機関のうち  
チェックのあった機関数

調査を依頼した  
全医療機関数

区市町村名 \_\_\_\_\_

-2 大腸がん検体の取扱い

この項目については、今回、調査を実施する医療機関又は検査委託機関についての情報のみを記入してください。（「事業評価のための点検表」（検診実施機関又は検査委託機関用）から記入する。）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検査施設又は検査委託機関では検体を受領後冷蔵保存している。 満たしている機関数/検診実施機関数 = _____ 機関 / _____ 機関</li> <li>・ 検査施設又は検査委託機関では検体を受領後 24 時間以内に測定している。 満たしている機関数/検診実施機関数 = _____ 機関 / _____ 機関</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検診実施機関が検査を他の検査機関について委託をしている。 委託機関数/検診実施機関数 = _____ 機関 / _____ 機関</li> </ul>

検診実施機関数は調査実施機関数又は検査委託機関数を入れてください。

-3 大腸がん便潜血検査の技術管理

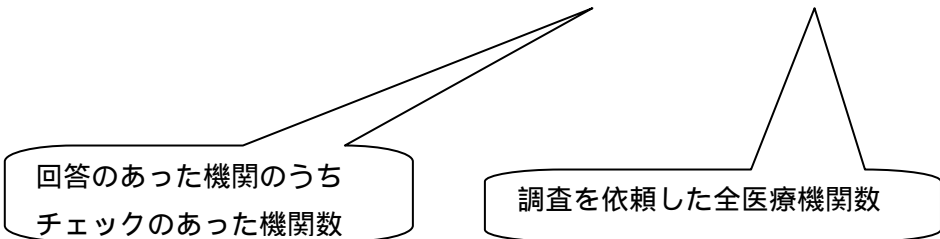
この項目については、今回、調査を実施する医療機関又は検査委託機関についての情報を記入してください。（「事業評価のための点検表」（検診実施機関又は検査委託機関用）から記入する。）

<p>便潜血検査について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 便潜血検査キットが定量法の場合はカットオフ値を把握している。 満たしている機関数/検診実施機関数 = _____ 機関 / _____ 機関</li> <li>・ 大腸がん検診マニュアル（1992）に記載された方法に準拠している。 満たしている機関数/検診実施機関数 = _____ 機関 / _____ 機関</li> </ul>
--

検診実施機関数は調査実施機関数又は検査委託機関数を入れてください。

記入例：

- ・ 検査施設又は検査委託機関では検体を受領後冷蔵保存している。  
満たしている機関数/検診実施機関数 =   4   機関 /   5   機関





区市町村名 \_\_\_\_\_

## -1：乳がん撮影精度管理

この項目については、今回、調査を実施する医療機関についての情報のみを記入してください。（「事業評価のための点検表」（検診実施機関用）から記入する。）

## マンモグラフィ撮影について

- ・乳房エックス線撮影装置が日本医学放射線学会の定める仕様基準（ 5 ）を満たしている。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

- ・乳房エックス線撮影における線量及び写真の画質について、第三者（**マンモグラフィ検診精度管理中央委員会**）による外部評価を受けている。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

- ・撮影技師はマンモグラフィの撮影に関する適切な研修（ 6 ）を修了している。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

検診実施機関数は調査実施機関数を入れてください。

## 5 乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準

- 1 インバータ式エックス線高電圧装置を備えること
- 2 自動露出制御（AEC）を備えること
- 3 移動グリッドを備えること
- 4 管電圧の精度・再現性

(a) 表示精度：±5%以内（24～32kV）

(b) 再現性：変動係数 0.02 以下

## 5 光照射野とエックス線照射野のずれ

左右・前後のずれ：SIDの2%

## 6 焦点サイズ

公称 0.3mm のとき、0.45mm × 0.65mm 以内

## 7 圧迫板透過後の線質（半価層、HVL）

モリブデン（Mo）ターゲット/モリブデン（Mo）フィルタのとき  
 $(測定管電圧/100) + 0.03 \leq HVL(mmAl) < (測定管電圧/100) + 0.12$

## 8 乳房圧迫の表示

(a) 厚さの表示精度：±5mm 以内

(b) 圧迫圧の表示精度：±20N 以内

## 9 AEC の精度

(a) 基準濃度：1.5 管理幅：±0.15 以内

（ファントム厚 20、40、60mm 及びこれらの厚さに対して 100mAs 以下のエックス線照射が行える管電圧の選択範囲とする。）

(b) 再現性：変動係数 0.05 以下

## 6 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会が開催又は共催する乳房エックス線検査に関する技術講習会

区市町村名 \_\_\_\_\_

-2 乳がん読影精度管理

この項目については、今回、調査を実施する医療機関についての情報のみを記入してください。（「事業評価のための点検表」（検診実施機関用）から記入する。）

マンモグラフィ読影について

- ・読影に従事する医師がマンモグラフィの読影に関する適切な研修（ 7 ）を修了している。

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

- ・読影は二重読影である。（うち1人は検診マンモグラフィ読影医師または撮影診療放射線技師・医師認定A又はBを有すること）

満たしている機関数/検診実施機関数 = \_\_\_\_\_ 機関 / \_\_\_\_\_ 機関

検診実施機関数は調査実施機関数を入れてください。

7 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会が開催又は共催する乳房エックス線検査に関する読影講習会

記入例：

- ・読影は二重読影である。（うち1人は検診マンモグラフィ読影医師または撮影診療放射線技師・医師認定A又はBを有すること）

満たしている機関数/検診実施機関数 = 4 機関 / 5 機関

回答のあった機関のうち  
チェックのあった機関数

調査を依頼した全医療機関数

区市町村名 \_\_\_\_\_

-1: 子宮がん細胞診精度管理

この項目については、今回、調査を実施する医療機関についての情報のみを記入してください。(「事業評価のための点検表」(検診実施機関用)から記入する。)

細胞診について ・頸管腺細胞又は移行帯細胞が検体に含まれ、十分な数の扁平上皮系細胞が採取されているなど、十分に適切な検体が採取され、検体が不十分であった場合には再検査を行っている。 満たしている機関数/検診実施機関数 = _____ 機関 / _____ 機関
・検診実施機関が検査を他の検査機関について委託をしている。 委託機関数/検診実施機関数 = _____ 機関 / _____ 機関

検診実施機関数は、調査実施機関数を記入してください。

-2: 子宮がん細胞診精度管理

この項目については、今回、調査を実施する医療機関又は検査委託機関についての情報を記入してください。(「事業評価のための点検表」(検診実施機関又は検査委託機関用)から記入する。)

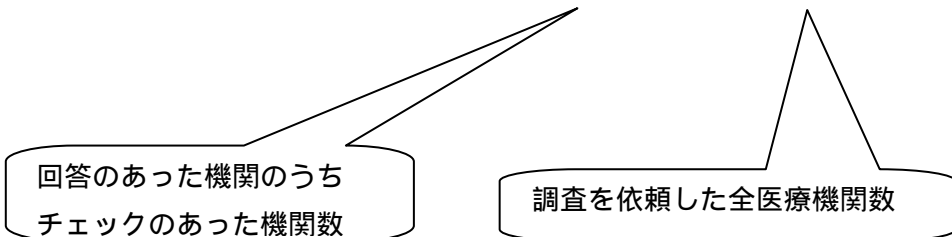
細胞診について ・検体の顕微鏡検査は二重チェック(複数の者による検査)が行われている。 満たしている機関数/検診実施機関数 = _____ 機関 / _____ 機関 ・十分な経験を有する医師及び臨床検査技師(日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医及び細胞検査士等)が検査を行っている。 満たしている機関数/検診実施機関数 = _____ 機関 / _____ 機関 ・がん発見例について過去の細胞所見の見直しを行っている。 満たしている機関数/検診実施機関数 = _____ 機関 / _____ 機関
--

検診実施機関数は調査実施機関数又は検査委託機関数を入れてください。

記入例:

- ・頸管腺細胞又は移行帯細胞が検体に含まれ、十分な数の扁平上皮系細胞が採取されているなど、十分に適切な検体が採取され、検体が不十分であった場合には再検査を行っている。

満たしている機関数/検診実施機関数 = 4 機関 / 5 機関



区市町村名 \_\_\_\_\_

《 要精検率の分析 》

以下の質問にお答えください。

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ( 1 ) 要精検率が許容値より高い。  
( 4 - 1、 4 - 2 )
- ( 2 ) 要精検率が許容値未満である。  
( 5 - 1、 5 - 2 )
- ( 3 ) 要精検率が許容値と同値である。  
P 2 2 「受診者への説明」へ

- ( 4 - 1 )
- ・ 各がんの有病率の高い年齢階級の受診者が多い。  
( 入力シート：各がん：「( 当該年度 ) 受診者数」参照 )
- 有病率が高い年齢階級は以下のとおりです。

胃がん：70 歳代

肺がん：70 歳代

大腸がん：65 歳～75 歳

乳がん：40 歳後半～50 歳代

子宮がん：30～40 歳代、60 歳代後半以降
- ・ 初回受診者 ( 過去 3 年以内に各がん検診の受診歴のない者 ) が多い。
  - ・ がん発見率が高い ( P 28 参照 ) 。

検診実施機関について、次の項目についてお答えください。

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ( 4 - 2 )
- ・ 「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関 ( 検査委託機関 ) がある。  
( P 10～19 参照 )
  - ・ 陽性反応適中度 ( 8 ) が低い医療機関がある。  
他の検診実施機関と比較してください。
  - ・ 各検診実施機関の「要精検」の判定基準が確認できていない。

8 陽性反応適中度の説明は、P.32「陽性反応適中度」のチェックシートを参照

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ( 5 - 1 )
- ・ 各がんの有病率の低い年齢階級の受診者が多い。  
( 入力シート：各がん：「( 当該年度 ) 受診者数」参照 )
  - ・ 初回受診者 ( 過去 3 年以内に各がん検診の受診歴のない者 ) が少ない。
  - ・ がん発見率が低い。( P 28 参照 ) 。

区市町村名 \_\_\_\_\_

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ( 5 - 2 ) {
- ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関（検査委託機関）がある。  
（ P 10 ~ 19 参照 ）
  - ・各検診実施機関の「要精検」の判定基準が確認できていない。

区市町村名 \_\_\_\_\_

#### 4 受診者への説明

以下の質問にお答えください。医療機関実施の場合は「事業評価のための点検表」から転記してください。

受診者に対し次のような説明を行っていますか。

- ・検診方法をチラシやリーフレット等によって説明している。

	胃	肺	大腸	乳	子宮
医療機関が実施している					
満たしている 機関数/検診 実施機関数	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関
区市町村が実施している					

- ・一次検診で要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを検診実施前に明確に知らせている。( 9)

	胃	肺	大腸	乳	子宮
医療機関が実施している					
満たしている 機関数/検診 実施機関数	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関
区市町村が実施している					

- ・精密検査の方法や内容について説明している。

	胃	肺	大腸	乳	子宮
医療機関が実施している					
満たしている 機関数/検診 実施機関数	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関
区市町村が実施している					

区市町村名 \_\_\_\_\_

・精密検査結果の区市町村への報告等の個人情報等取扱いについて、受診者に対し、十分な説明を行っている。( 10)

	胃	肺	大腸	乳	子宮
医療機関が実施している					
満たしている 機関数 / 検診 実施機関数	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関
区市町村が実施している					

9 大腸がんの場合、精密検査を受けなかった群は受けた群に比べ、死亡する危険性が4~5倍高い事が示唆されています(老人保健事業に基づく大腸がん検診の見直しについて、がん検診に関する検討会中間報告)

10 本人の同意を得ることが原則ですが、同意を得ることが困難なとき、がん検診の精度管理のために、地方公共団体又は地方公共団体から委託を受けた機関が精密検査結果の情報を提供することは個人情報保護法の例外とされ、提供することができます。(医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン)

記入例

・検診方法をチラシやリーフレット等によって説明している。

	胃	肺	大腸	乳	子宮
医療機関が実施している					
満たしている 機関数 / 検診 実施機関数	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関	___機関 / ___機関
区市町村が実施している					

医療機関が実施している場合にチェックし、実数値を以下に記入

区市町村が実施している場合にチェック

回答のあった機関のうち  
チェックのあった機関数

調査を依頼した  
全医療機関数

区市町村名 \_\_\_\_\_

## 5 精検受診率と受診勧奨

### 【精検受診率】 要精検者のうち、精密検査を受けた者の割合

- ・精検受診率は高いことが望ましい。
- ・精検を受けなかった者（精検未受診者）が多い場合や、精検の結果が把握されていない者（精検結果未把握者）が多い場合、精検受診率が低くなる。
- ・精検受診率が低い場合、陽性反応適中度も低くなる。

参考：《計算式》 精検受診率 = 精検受診者数 / 要精検者数 × 100  
 （精検受診者 = 要精検者 - 精検未受診者 - 精検結果未把握者）

この数字は必ず入れてください。

胃がん (許容値70%以上)	胃部エックス線検査のみ 精検受診率 _____% (入力シート：胃がん：D30 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 精検受診率 _____% (入力シート：胃がん：D62 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 精検受診率 _____% (入力シート：胃がん：D94 転記)
肺がん (許容値70%以上)	胸部エックス線検査及び喀痰細胞診 精検受診率 _____% (入力シート：肺がん：D29 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 精検受診率 _____% (入力シート：肺がん：D60 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 精検受診率 _____% (入力シート：肺がん：D91 転記)
大腸がん (許容値70%以上)	便潜血検査（二日法） 精検受診率 _____% (入力シート：大腸がん：D29 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 精検受診率 _____% (入力シート：大腸がん：D60 転記)
	その他の検査方法（検査方法名： _____） 精検受診率 _____% (入力シート：大腸がん：D91 転記)



区市町村名 \_\_\_\_\_

乳がん (許容値80%以上)	マンモグラフィ及び視触診の併用 精検受診率 _____% (入力シート：乳がん：D29 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____ ) 精検受診率 _____% (入力シート：乳がん：D60 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____ ) 精検受診率 _____% (入力シート：乳がん：D91 転記)
子宮がん (許容値70%以上)	頸部擦過細胞診のみ 精検受診率 _____% (入力シート：子宮がん：D33 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____ ) 精検受診率 _____% (入力シート：子宮がん：D68 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____ ) 精検受診率 _____% (入力シート：子宮がん：D103 転記)

《 精検受診率と受診勧奨の分析に当たり必要な作業 》

分析に必要な次の集計及び受診勧奨を行っていますか。実施している項目にチェックしてください。

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ・ 精検受診率を日頃より集計
- ・ 精検受診率を性別且つ年齢階級別に集計
- ・ 精検受診率を検診実施機関別に集計
- ・ 精検未受診率を集計
- ・ 精検未受診率を性別且つ年齢階級別に集計
- ・ 精検未受診率を検診実施機関別に集計
- ・ 精検未受診者に精検の受診勧奨を行っている。
- ・ 精検結果未把握率を集計
- ・ 精検結果未把握率を性別且つ年齢階級別に集計
- ・ 精検結果未把握率を検診実施機関別に集計

： 検診実施機関が1つの場合もチェックしてください。

区市町村名 \_\_\_\_\_

《 精検受診率の分析 》

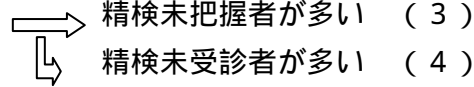
以下の質問にお答えください。

胃 肺 大腸 乳 子宮

( 1 ) 精検受診率が許容値以上である

対策 ( 3 )

( 2 ) 精検受診率が許容値未満である。



精検未把握者が多い場合

入力シート参照	
胃がん：E 26、E 58、E 90	肺がん、大腸がん：E 25、E 56、E 87
乳がん：H 25、H 56、H 87	子宮がん：Q 29、Q 64、Q 99

精検未受診者が多い場合

入力シート参照	
胃がん：D 26、D 58、D 90	肺がん、大腸がん：D 25、D 56、D 87
乳がん：G 25、G 56、G 87	子宮がん：N 29、N 64、N 99

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ( 3 ) {
- ・ 検診実施機関、精検実施機関との情報提供体制ができていない。
  - ・ 結果の把握方法（情報提供体制）はあるが、医療機関からの情報提供が得られない場合がある。
  - ・ 情報提供体制はできているが、国への報告時期までに、精検結果について情報が得られない。
  - ・ その他 ( )

チェックがついた場合には 対策 ( 1 ) へ

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ( 4 ) {
- ・ 精検未受診者の多い集団の特性が明らかになっていない。
  - ・ 受診しない理由が明らかになっていない。
  - ・ その他 ( )

チェックがついた場合には 対策 ( 2 ) へ

区市町村名 \_\_\_\_\_

《 精検受診率が低い場合の対策を記入してください。 》

- 対策（１） 精検結果把握の方法について対策が必要です。

\* 具体的対策について考えているものを記入してください。また、下段には対策として東京都や都保健所に求めることなどを記入してください。

胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん

- 対策（２） 精密検査を受けていない集団、また主な受けない理由を明らかにし、それに対する対策が必要です。

\* 具体的対策について考えているものを記入してください。また、また、下段には対策として東京都や都保健所に求めることなどを記入してください。

胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん

《 精検受診率が高い場合 》

- 対策（３） 精検結果把握の方法について特別な対策をしている場合  
それをお書きください。

胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん

区市町村名 \_\_\_\_\_

## 6 がん発見率

【がん発見率】 がん検診受診者のうち、がんが発見された者の割合

- ・がん発見率は高いことが望ましい。(ただし、異なる集団での比較は注意する)
- ・検診実施機関において、がんを早期に適切に発見できない場合や、精検結果が把握されていない場合、がん発見率は低くなる。

参考：《計算式》 がん発見率 =  $\frac{\text{がんが発見された者の人数}}{\text{受診者数}} \times 100$

この数字は必ず記入してください。

胃がん (許容値0・11%以上)	胃部エックス線検査のみ がん発見率 _____% (入力シート：胃がん：E 30 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____ ) がん発見率 _____% (入力シート：胃がん：E 62 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____ ) がん発見率 _____% (入力シート：胃がん：E 94 転記)
肺がん (許容値0・03%以上)	胸部エックス線検査及び喀痰細胞診 がん発見率 _____% (入力シート：肺がん：E 29 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____ ) がん発見率 _____% (入力シート：肺がん：E 60 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____ ) がん発見率 _____% (入力シート：肺がん：E 91 転記)
大腸がん (許容値0・13%以上)	便潜血検査 (二日法) がん発見率 _____% (入力シート：大腸がん：E 29 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____ ) がん発見率 _____% (入力シート：大腸がん：E 60 転記)
	その他の検査方法 (検査方法名： _____ ) がん発見率 _____% (入力シート：大腸がん：E 91 転記)

区市町村名 \_\_\_\_\_

乳がん (許容値0・23%以上)	マンモグラフィ及び視触診の併用 がん発見率 _____% (入力シート：乳がん：E 29 転記)
	その他の検査方法(検査方法名： _____ ) がん発見率 _____% (入力シート：乳がん：E 60 転記)
	その他の検査方法(検査方法名： _____ ) がん発見率 _____% (入力シート：乳がん：E 91 転記)
子宮がん (許容値0・05%以上)	頸部擦過細胞診のみ がん発見率 _____% (入力シート：子宮がん：E 33 転記)
	その他の検査方法(検査方法名： _____ ) がん発見率 _____% (入力シート：子宮がん：E 68 転記)
	その他の検査方法(検査方法名： _____ ) がん発見率 _____% (入力シート：子宮がん：E 103 転記)

区市町村名 \_\_\_\_\_

## 《 がん発見率の分析に当たり必要な集計作業 》

## ( 1 ) 集計作業

がん発見率の分析に当たり、次の集計を行っていますか。実施している項目について  
チェックしてください。

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ・がん発見率を日頃より集計
- ・がん発見率を性別且つ年齢階級別に集計
- ・がん発見率を検診実施機関別に集計
- ・がん発見率を受診歴別 ( 11 ) に集計
- ・がん発見率を検診方法別 ( マンモグラフィと視触診併用・視触診のみ ) に集計
- ・早期がん ( 肺がんについては臨床病期 期がん、子宮がんについては上皮内がん ) 割合 ( 12 ) を性別且つ年齢階級別に集計
- ・早期がん ( 肺がんについては臨床病期 期がん、子宮がんについては上皮内がん ) 割合を検診実施機関別に集計
- ・早期がん ( 肺がんについては臨床病期 期がん、子宮がんについては上皮内がん ) 割合を受診歴別に集計
- ・早期がん割合を検診方法別 ( マンモグラフィと視触診併用・視触診のみ ) に集計

**：検診実施機関が1つの場合もチェックしてください。**

11 受診歴については、以下のとおりとする。

胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん：

初回受診者 ( 初回の定義は過去 3 年間に受診歴がない者 ) 及び逐年  
検診受診者等の受診歴別

肺がん：前年度に肺がん検診の受診歴のない者を「初回受診者」とする。

12 胃がん：がんの浸潤が粘膜下層までにとどまるがんの割合 ( 胃がん取扱規約 )

肺がん：がんが肺のなかに留まっておりリンパ節や他の臓器への転移なし  
( TNM 分類 )

大腸がん：がんの浸潤が粘膜下層までにとどまるがんの割合 ( 大腸がん取扱  
規約 )

乳がん：臨床病期 期 ( 最大径 2 cm 以下で腋窩リンパ節転移のないもの ) ま  
でのがんの割合 ( TNM 分類 )

区市町村名 \_\_\_\_\_

《 がん発見率の分析 》

以下の質問にお答えください。

胃 肺 大腸 乳 子宮

( 1 ) がん発見率が許容値以上である

P 3 2 「陽性反応適中度」

( 2 ) がん発見率が許容値未満である。

( 3 - 1、3 - 2、3 - 3 )

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ( 3 - 1 ) {
- ・ 受診者の年齢階級で、有病率の低い年齢階級の受診者が多い。  
(入力シート：各がん：「(当該年度)受診者数」参照)
  - ・ 初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。
  - ・ その他( )

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ( 3 - 2 ) {
- ・ 他の検診実施機関と比較して、がん発見率が特に低い検診実施機関がある。
  - ・ がん発見に占める早期がん(肺がんについては臨床病期 期がん、子宮がんについては上皮内がん)発見の割合が低い。
  - ・ その他( )

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ( 3 - 3 ) {
- ・ 精検受診率が許容値と比較して低い。( P 24 参照 )
  - ・ その他( )

区市町村名 \_\_\_\_\_

## 7 陽性反応適中度

【陽性反応適中度】 検診結果が「要精検」の者のうちがんが発見された者の割合

- ・ 基本的には高い方が望ましい。
- ・ 有病率が低い集団（有病率が高い年齢階級の受診者が少ない集団、初回受診者が少ない集団）が受診している場合、陽性反応適中度は低くなる傾向があり、有病率が高い集団（有病率が高い年齢階級の受診者が多い集団、初回受診者が多い集団）が受診している場合、陽性反応適中度は高くなる傾向がある。

参考：《計算式》陽性反応適中度 =  $\frac{\text{がんが発見された者の人数}}{\text{要精検者}} \times 100$

この数字は必ず記入してください。

胃がん (許容値1:0%以上)	胃部エックス線検査のみ 陽性反応適中度 _____% (入力シート:胃がん:F 30 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 陽性反応適中度 _____% (入力シート:胃がん:F 62 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 陽性反応適中度 _____% (入力シート:胃がん:F 94 転記)
肺がん (許容値1:3%以上)	胸部エックス線検査及び喀痰細胞診 陽性反応適中度 _____% (入力シート:肺がん:F 29 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 陽性反応適中度 _____% (入力シート:肺がん:F 60 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 陽性反応適中度 _____% (入力シート:肺がん:F 91 転記)
大腸がん (許容値均1:9%以上)	便潜血検査(二日法) 陽性反応適中度 _____% (入力シート:大腸がん:F 29 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 陽性反応適中度 _____% (入力シート:大腸がん:F 60 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 陽性反応適中度 _____% (入力シート:大腸がん:F 91 転記)



区市町村名 \_\_\_\_\_

乳がん (許容値2:5%以上)	マンモグラフィ及び視触診の併用 陽性反応適中度 _____% (入力シート:乳がん:F 29 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 陽性反応適中度 _____% (入力シート:乳がん:F 60 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 陽性反応適中度 _____% (入力シート:乳がん:F 91 転記)
子宮がん (許容値4:00%以上)	頸部擦過細胞診のみ 陽性反応適中度 _____% (入力シート:子宮がん:F 33 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 陽性反応適中度 _____% (入力シート:子宮がん:F 68 転記)
	その他の検査方法(検査方法名: _____) 陽性反応適中度 _____% (入力シート:子宮がん:F 103 転記)

《 陽性反応適中度の分析に当たり必要な集計作業 》

陽性反応適中度の分析に当たり次のような集計を行っていますか。実施している項目にチェックしてください。

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ・ 陽性反応適中度を日頃より集計
- ・ 陽性反応適中度を性別且つ年齢階級別に集計
- ・ 陽性反応適中度を検診実施機関別に集計
- ・ 陽性反応適中度を受診歴別( 13 )に集計
- ・ 陽性反応適中度を検診方法別(マンモグラフィと視触診併用・視触診のみ)に集計

**: 検診実施機関が1つの場合もチェックしてください。**

13 受診歴については、以下のとおりとする。

胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん:

初回受診者(初回の定義は過去3年間に受診歴がない者)及び逐年  
検診受診者等の受診歴別

肺がん:前年度に肺がん検診の受診歴のない者を「初回受診者」とする。

区市町村名 \_\_\_\_\_

《 陽性反応適中度の分析 》

以下の質問にお答えください。

胃 肺 大腸 乳 子宮

( 1 ) 陽性反応適中度が許容値以上である。

( 2 ) 陽性反応適中度が許容値未満である。

( 4 - 1、4 - 2、4 - 3 )

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ( 4 - 1 )
- ・がん有病率が高い年齢階級の受診者が少ない。  
(入力シート：各がん：「(当該年度)受診者数」参照)
  - ・初回受診者(過去3年以内に各がん検診の受診歴のない者)が少ない。
  - ・がん発見率が低い。( P 28 参照 )

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ( 4 - 2 )
- ・「事業評価のための点検表」において、項目が満たされていない医療機関(検査委託機関)がある。  
( P10 ~ 19 参照 )
  - ・各検診実施機関の「要精検」の判定基準が確認できていない。

胃 肺 大腸 乳 子宮

- ( 4 - 3 )
- ・精検受診率が低い。( P 24 参照 )
  - ・その他 ( )

<p>検診実施機関名</p> <p>連絡先（所在地、電話番号）</p>
--

## 事業評価のための点検表（検診実施機関用）

[胃がん検診]

### 胃部エックス線の精度管理

#### 撮影の精度管理

はい      いいえ

撮影機器の種類（直接・間接・DR撮影、イメージ・インテンシファイア（I.I.）方式等）を明らかにしていますか。

原則として間接撮影で、10×10cm以上のフィルムでI.I.方式とします。

撮影枚数は最低7枚としていますか。

撮影の体位及び方法は日本消化器がん検診学会の方式によるものとしていますか。（ 1 ）

造影剤の使用に当たっては、その濃度を適切に（180～220W/V%の高濃度バリウム、120～150mlとする）保つとともに、副作用等の事故に注意していますか。

撮影技師は撮影に関する日本消化器がん検診学会の研修を修了し、同学会の認定取得を目標としていますか。

#### 読影の精度管理

読影は、原則として十分な経験を有する2名以上の医師（うち一人は日本消化器がん検診学会認定医とする）によって行っていますか。

2名の医師の読影結果に応じて過去に撮影した胃部エックス線写真と比較読影していますか。

胃部エックス線写真は少なくとも3年間は保存していますか。

## 受診者への説明

はい      いいえ

検診方法をチラシやリーフレット等によって説明していますか。

一次検診で要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを検診実施前に明確に知らせていますか。

精密検査の方法や内容について説明していますか。

精密検査結果の区市町村への報告等個人情報の取扱いについて受診者に対し、十分な説明を行っていますか。( 2)

- 1 新・撮影法・変法、直接撮影法、DR(Digital Radiography)及びFPD(Flat Panel Detector)による撮影法は、日本消化器がん検診学会発行、新・胃X線撮影法(間接・直接)ガイドライン(2005)を参照
- 2 本人の同意を得ることが原則ですが、同意を得ることが困難なとき、がん検診の精度管理のための地方公共団体又は地方公共団体から委託を受けた機関に対する精密検査結果の情報提供は、個人情報保護法で第三者提供の例外とされています(医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン)。

検診実施機関又は検査委託機関名

連絡先（所在地、電話番号）

## 事業評価のための点検表

### （検診実施機関又は検査委託機関用）

[肺がん検診]

喀痰細胞診精度管理

はい      いいえ

ホモジナイズ法又は蓄痰直接塗沫法を行い、パパニコロウ染色をしていますか。

十分な経験を有する医師及び臨床検査技師（日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医及び細胞検査士等）が検査を行っていますか。

同一検体から作成された2枚以上のスライドは、2名以上の技師によりスクリーニングされていますか。

喀痰細胞診の結果の判定は、「肺癌集団検診の手びき」（日本肺癌学会集団検診委員会編）の「集団検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分」によって行われていますか。

検診実施機関名

連絡先（所在地、電話番号）

## 事業評価のための点検表（検診実施機関用）

[肺がん検診]

胸部エックス線精度管理

撮影方法（該当するものに を付けてください）

- ・ 間接撮影 、 、 、 、 をお答え下さい
- ・ 直接撮影 、 、 、 をお答え下さい
- ・ デジタル撮影 、 、 、 をお答え下さい

はい いいえ

間接撮影であって、100mm ミラーカメラを用い、定格出力 150kv の撮影装置をいた、120kv 以上の管電圧による撮影ですか。  
間接撮影であって、定格出力125kvの撮影装置を用い、110kv以上の管電圧により、縦隔部の感度を肺野に対して高めるための希土類（グラデーション型）蛍光板を用いた装置ですか。

直接法であって、被験者 管球間の距離を1.5m以上とし120kv（やむを得ない場合は100～120kvでも可）の管電圧及び希土類システム（希土類増感紙及びオルソタイプフィルム）を用いた撮影ですか。

デジタル方式で高圧撮影（120kv以上）ですか。

胸部エックス線写真が肺尖、肺野外側縁、横隔膜、肋骨横隔膜などを十分に含むようなエックス線写真であって、適度な濃度とコントラスト及び良好な鮮鋭度をもち、縦隔陰影に重なった気管、気管支の透亮像並びに心陰影及び横隔膜に重なった肺血管が観察できるものですか。

2名以上の医師が同時に又はそれぞれ独立して読影しており、このうち1名は十分経験の要した呼吸器または放射線の専門医ですか。

比較読影（ 1 ）を行っていますか。

## 喀痰細胞診精度管理

はい      いいえ

対象者は、問診の結果、原則として「50歳以上で喫煙指数（1日本数×年数）600以上の者（過去における喫煙者を含む。）」又は「6か月以内に血痰のあった者」のいずれかに該当する事が判明した者ですか。

検診者に有効痰の採取方法を説明し、保存液の入った喀痰採取容器を配布し、喀痰を採取していますか。

喀痰は、起床時の早朝喀痰を原則とし、最低3日の蓄痰又は3日の連続採痰としていますか。

採痰容器の回収を徹底していますか。

喀痰細胞診を他の検査機関に委託していますか。

## 受診者への説明

はい      いいえ

検診方法をチラシやリーフレット等によって説明していますか。

一次検診で要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを検診実施前に明確に知らせていますか。

精密検査の方法や内容について説明していますか。

精密検査結果の区市町村への報告等個人情報の取扱いについて受診者に対し、十分な説明を行っていますか。（2）

- 1 二重読影の結果、「肺癌集団検診の手引き」（日本肺癌学会集団検診委員会編）の「肺癌検診における胸部エックス線写真の判定基準と指導区分」の「d」及び「e」に該当するものについて行うもので、地域の実情に応じて次のいずれかの方法で行う。
  - 1 読影委員会等を設置して比較読影を行う。
  - 2 二重読影を行った医師がそれぞれ比較読影を行う。
  - 3 二重読影を行った医師のうち、指導的立場の医師が比較読影を行う。
- 2 本人の同意を得ることが原則ですが、同意を得ることが困難なとき、がん検診の精度管理のための地方公共団体又は地方公共団体から委託を受けた機関に対する精密検査結果の情報提供は、個人情報保護法で第三者提供の例外とされています（医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン）。

検診実施機関又は検査委託機関名

連絡先（所在地、電話番号）

## 事業評価のための点検表

（検診実施機関又は検査委託機関用）

[大腸がん検診]

検体の取扱い

はい いいえ

検査施設又は検査委託機関では検体を受領後冷蔵保存して  
いますか。  
検査施設又は検査委託機関では検体を受領後 24 時間以内に  
測定していますか。

便潜血検査の技術管理

はい いいえ

便潜血検査キットが定量法の場合はカットオフ値を把握してい  
ますか。  
大腸がん検診マニュアル（1992）に記載された方法に準拠して  
いますか。



検診実施機関名

連絡先（所在地、電話番号）

## 事業評価のための点検表（検診実施機関用）

[大腸がん検診]

検体の取扱い

はい いいえ

初回の検体は、採便後に検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するように受診者に指導していますか。  
二回目採便の翌日までに、受診者から検体を回収することを原則としていますか。  
受診者から検体を回収してから自施設で検査を行うまでの間あるいは検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存していますか。  
検体回収後、即日、検査施設又は検査委託機関へ引き渡していますか。

検体の取扱い

はい いいえ

検診実施機関が検査を他の検査機関について委託をしていますか。

受診者への説明

はい いいえ

採便方法をチラシやリーフレットによって説明していますか。  
便潜血検査陽性で要精密検査となった場合には、必ず内視鏡検査等で精検を受ける必要があることを検診実施前に明確に知らせていますか。（ 1 ）  
精密検査の方法（大腸内視鏡検査又は注腸エックス線検査）の方法や内容について説明していますか。  
精密検査の結果の市町村への報告等の個人情報の取扱いについて、受診者に対し、十分な説明を行っていますか。（ 2 ）

- 1 精密検査を受けなかった群は受けた群に比べ、大腸がんにより死亡する危険性が4~5倍高い事が示唆されています（老人保健事業に基づく大腸がん検診の見直しについて、がん検診に関する検討会中間報告）
- 2 本人の同意を得ることが原則ですが、同意を得ることが困難なとき、がん検診の精度管理のための地方公共団体又は地方公共団体から委託を受けた機関に対する精密検査結果の情報提供は、個人情報保護法で第三者提供の例外とされています（医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン）

検診実施機関名

連絡先（所在地、電話番号）

## 事業評価のための点検表（検診実施機関用）

[乳がん検診]

撮影精度管理

はい      いいえ

乳房エックス線撮影装置が日本医学放射線学会の定める仕様基準（ 1 ）を満たしていますか。  
乳房エックス線撮影における線量及び写真の画質について第三者（マンモグラフィ検診精度管理中央委員会）による外部評価を受けていますか。  
撮影技師はマンモグラフィの撮影に関する適切な研修（ 2 ）を修了していますか。

読影精度管理

はい      いいえ

読影に従事する医師がマンモグラフィの読影に関する適切な研修（ 3 ）を修了していますか。  
読影は二重読影ですか。（うち1人は検診マンモグラフィ読影医師または撮影診療放射線技師・医師認定A又はBを有している）

受診者への説明

はい      いいえ

検診方法をチラシやリーフレット等によって説明していますか。  
一次検診で要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを検診実施前に明確に知らせていますか。  
精密検査の方法や内容について説明していますか。  
精密検査結果の区市町村への報告等個人情報の取扱いについて受診者に対し、十分な説明を行っていますか。（ 4 ）

- 1 乳がん検診に用いるエックス線装置の仕様基準
  - 1 インバータ式エックス線高電圧装置を備えること
  - 2 自動露出制御（AEC）を備えること
  - 3 移動グリッドを備えること
  - 4 管電圧の精度・再現性
    - (a) 表示精度：±5%以内（24～32kV）
    - (b) 再現性：変動係数 0.02 以下
  - 5 光照射野とエックス線照射野のずれ  
左右・前後のずれ：SID の 2%
  - 6 焦点サイズ  
公称 0.3mm のとき、0.45mm × 0.65mm 以内
  - 7 圧迫板透過後の線質（半価層、HVL）  
モリブデン（Mo）ターゲット / モリブデン（Mo）フィルタのとき  
(測定管電圧/100) + 0.03 HVL(mmAl) < (測定管電圧/100) + 0.12
  - 8 乳房圧迫の表示
    - (a) 厚さの表示精度：±5mm 以内
    - (b) 圧迫圧の表示精度：±20N 以内
  - 9 AEC の精度
    - (a) 基準濃度：1.5 管理幅：±0.15 以内  
(ファントム厚 20、40、60mm 及びこれらの厚さに対して 100mAs 以下のエックス線照射が行える管電圧の選択範囲とする)
    - (b) 再現性：変動係数 0.05 以下
- 2 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会が開催又は共催する乳房エックス線検査に関する技術講習会
- 3 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会が開催又は共催する乳房エックス線検査に関する読影講習会
- 4 本人の同意を得ることが原則ですが、同意を得ることが困難なとき、がん検診の精度管理のための地方公共団体又は地方公共団体から委託を受けた機関に対する精密検査結果の情報提供は、個人情報保護法で第三者提供の例外とされています（医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン）。

検診実施機関又は検査委託機関名

連絡先（所在地、電話番号）

## 事業評価のための点検表

（検診実施機関又は検査委託機関用）

[子宮がん検診]

細胞診精度管理

はい

いいえ

検体の顕微鏡検査は二重チェック（複数の者による検査）が行われていますか。

十分な経験を有する医師及び臨床検査技師（日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医及び細胞検査士等）が検査を行っていますか。

がん発見例について過去の細胞所見の見直しを行っていますか。

検診実施機関名

連絡先（所在地、電話番号）

## 事業評価のための点検表（検診実施機関用）

[子宮がん検診]

細胞診精度管理

はい いいえ

頸管腺細胞又は移行帯細胞が検体に含まれ、十分な数の扁平上皮系細胞が採取されているなど、十分に適切な検体が採取され、検体が不十分であった場合には再検査を行っていますか。

検診実施機関が検査を他の検査機関について委託をしていますか。

受診者への説明

はい いいえ

検診方法をチラシやリーフレット等によって説明していますか。  
一次検診で要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを検診実施前に明確に知らせていますか。  
精密検査の方法や内容について説明していますか。  
精密検査結果の区市町村への報告等個人情報の取扱いについて受診者に対し、十分な説明を行っていますか。( 1)

- 1 本人の同意を得ることが原則ですが、同意を得ることが困難なとき、がん検診の精度管理のための地方公共団体又は地方公共団体から委託を受けた機関に対する精密検査結果の情報提供は、個人情報保護法で第三者提供の例外とされています（医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン）。

## 事業評価のための点検表 添付枚数一覧表

「事業評価のための点検表」の提出枚数と提出医療機関名を記入してください。

・胃がん検診 別添 1 - 2 \_\_\_\_\_ 枚

提出医療機関名

・子宮がん検診 別添 2 - 2 \_\_\_\_\_ 枚

提出医療機関名

・子宮がん検診 別添 2 - 3 \_\_\_\_\_ 枚

提出医療機関名

・肺がん検診 別添 3 - 2 \_\_\_\_\_ 枚

提出医療機関名

・肺がん検診 別添 3 - 3 \_\_\_\_\_ 枚

提出医療機関名

・乳がん検診 別添 4 - 2 \_\_\_\_\_ 枚

提出医療機関名

・大腸がん検診 別添 5 - 2 \_\_\_\_\_ 枚

提出医療機関名

・大腸がん検診 別添 5 - 3 \_\_\_\_\_ 枚

提出医療機関名



検査方法: 胃部エックス線検査のみ

40歳以上の人口  対象人口率   
対象者数 0

\* 対象人口率: 区部63.3 市町村部58.3 島しょ61.4 実人員が判明している場合は、対象者数に実人員を入力

\* 受診者数: 40歳以上の受診者数を年齢階級別に入力

\* 要精検者: 検診受診者のうち、「精密検査を要する」と言われた者の数

\* 精検未受診者: 精密検査を受診していないと判明している者の数

\* 精検未把握者: 報告期限までに要精検者で検査結果が判明しなかった者の数、未受診と判明した者は含まない

	受診者数	要精検者数	精検未受診者数	精検未把握者数	がんであった者の人数
40～44歳					
45～49歳					
50～54歳					
55～59歳					
60～64歳					
65～69歳					
70～74歳					
75～79歳					
80歳以上					
不詳					
合計	0	0	0	0	0

結果 受診率 #DIV/0! 要精検率 #DIV/0! 精検受診率 #DIV/0! がん発見率 #DIV/0! 陽性反応適中度 #DIV/0!

検査方法:その他( )

40歳以上の人口  対象人口率   
 対象者数 0

- \* 対象人口率: 区部63.3 市町村部58.3 島しょ61.4 実人員が判明している場合は、対象者数に実人員を入力
- \* 受診者数: 40歳以上の受診者数を年齢階級別に入力
- \* 要精検者: 検診受診者のうち、「精密検査を要する」と言われた者の数
- \* 精検未受診者: 精密検査を受診していないと判明している者の数
- \* 精検未把握者: 報告期限までに要精検者で検査結果が判明しなかった者の数、未受診と判明した者は含まない

年齢	受診者数	要精検者数	精検未受診者数	精検未把握者数	がんであった者の人数
40～44歳					
45～49歳					
50～54歳					
55～59歳					
60～64歳					
65～69歳					
70～74歳					
75～79歳					
80歳以上					
不詳					
合計	0	0	0	0	0

結果 受診率 #DIV/0! 要精検率 #DIV/0! 精検受診率 #DIV/0! がん発見率 #DIV/0! 陽性反応適中度 #DIV/0!

1 胃がん検診関係

問1	「点検表について」 胃部エックス線検査は直営、ペプシノーゲン検査は医療機関で実施している。医療機関の点検表はペプシノーゲン検査の機関には送付しなくていいのか。
答	「受診者への説明」の部分のみ記入してもらうようにし、ペプシノーゲンを実施している医療機関にも送付する。

2 肺がん検診関係

問2	「2 受診率」について 基本健診の問診で対象者を選んでおり、さらに胸部エックス線検査と、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診併用の人に別れている。受診率はどのように出したらよいか。
答	分母は40歳以上の人口×対象人口率。問診によって、喀痰細胞診をするかしないかを決めているのであれば、それはすべて「胸部エックス線検査及び喀痰細胞診併用」として計算する。

問3	「3 要精検率」について 胸部エックス線検査と喀痰細胞診で、胸部エックス線検査で疑いのある人には喀痰細胞診をしたり、両方一度にしたりして、胸部エックス線検査で要精検になった人もいれば、喀痰細胞診で要精検になった人もいるが、人数の記入はどこに記入したらよいか。
答	検診自体の体制が「胸部エックス線検査及び喀痰細胞診」ならば、「胸部エックス線及び喀痰細胞診併用」に記入。体制が「胸部エックス線のみ」ならば「胸部エックス線のみ」に記入。

問4	胸部エックス線検査及び喀痰細胞診併用でがんが発見されたり、胸部エックス線検査だけで発見される人がいるが、どの数字で分析すればよいか。
答	分母は40歳以上の人口×対象人口率。問診によって、喀痰細胞診をするかしないかを決めているのであれば、それはすべて「胸部エックス線検査及び喀痰細胞診併用」として計算する。

問6	「点検票(検診実施機関用)」について と と では撮影方法が違う。いずれかを選んだ場合、他の撮影方法は「いいえ」と答えるのか、それとも空欄とするのか。
答	空欄または斜線

問7	「点検票(検診実施機関用)」(2)胸部エックス線精度管理」について 上記問6の場合、集計では分母が「5」になるのか。それとも実施機関数になるのか。
答	実施機関数

問8	「点検票(検診実施機関用)」(2)胸部エックス線精度管理」について 一つの医療機関で撮影方法が重複する可能性はあるのか。
答	撮影機械が2つ以上あれば、可能性はある。欄外にその事を記載。

問9	「点検票(検診実施機関用)」(3-1)喀痰細胞診精度管理」について 回収できない人に回収を促すという意味か。痰が物理的に出ない人もいると思うが
答	努力を促す事があるか、という事であり、痰が出ない人については対象外

問10	「点検票(検診実施機関用)」 点検票を書いてもらえなかった。病院と契約しており、話が検査機関まで行っていなかったらしい。
答	締め切りは過ぎる可能性はあっても、お願いしてほしい。駄目だったらその事を点検票に記載して提出する。

### 3 大腸がん検診関係

問11	「点検票(検査実施機関用)」「(2-2)検体の取り扱い」について 「検診実施機関が検査を他の検診機関について委託をしているか。」とは、どういう意味か。
答	容器を配布している機関と便の検査を実際に行なっている機関が別の場合にチェックをする。

問12	「点検票(検診実施機関又は検査委託機関用)」「(3)便潜血検査の技術管理」について 「大腸がん5-3「大腸がん検診マニュアル(1992)」とは何か。
答	大腸がん検診マニュアル:厚生省老人保健福祉部老人保健課編集1992年発行

### 4 乳がん検診関係

問13	全国平均と比較する場合にはマンモグラフィ及び視触診の併用の方で比較するというのでよいのか。
答	よい

問14	17年は視触診を実施していたが、18年は実施していない。その場合は、どのように記入すればよいか。
答	記入の必要はない。

問15	「3 要精検率」「(2)撮影精度管理」について 「撮影技師はマンモグラフィの撮影に関する適切な研修を修了している」とは、どういう意味か。
答	「修了している」とみなされるのは、A～Dのうち、A、Bまで。

### 5 子宮がん検診関係

問16	「点検票(検診実施機関用)」「(2-1)細胞診精度管理」について 医師会が検査機関に委託契約している場合には、「はい」でよいのか。
答	よい

問17	「点検票(検診実施機関用)」「(2-1)細胞診精度管理」について 検体検査を実施しているのが1機関なので、ここは実施している機関数が1となるが、それでよいのか。
答	1でよい。

問18	「点検票(検診実施機関用)」「(2-1)細胞診精度管理」について A:医師が自分で診ることはあるのか。 B:頸管腺細胞や移行帯細胞は分かるのか。 C:全く再検査といわれた事がない場合には「はい」になるのか。
答	A:病院の規模にもよる。全くないとは言えない。 B:顕微鏡検査で分かる。 C:基本的には「はい」であるが、再検査の体制が取れているかの問題も含んでいるので要確認

### 6 共通事項

問19	年齢階級別に各々受診率を出し、これを比較するのか。
答	全体に対する年齢階級別の構成比を出して、低いところがあるのかを比較する。

問20	検診を実施していない場合はどのようにしたら良いのか。
答	1枚目に「実施せず」と記入する。

問21	「(2)受診者の情報管理」のところ「受診者別の受診(記録)台帳又はデータベースの作成」とあるが、紙で保存している場合でも該当するのか。
答	該当する。

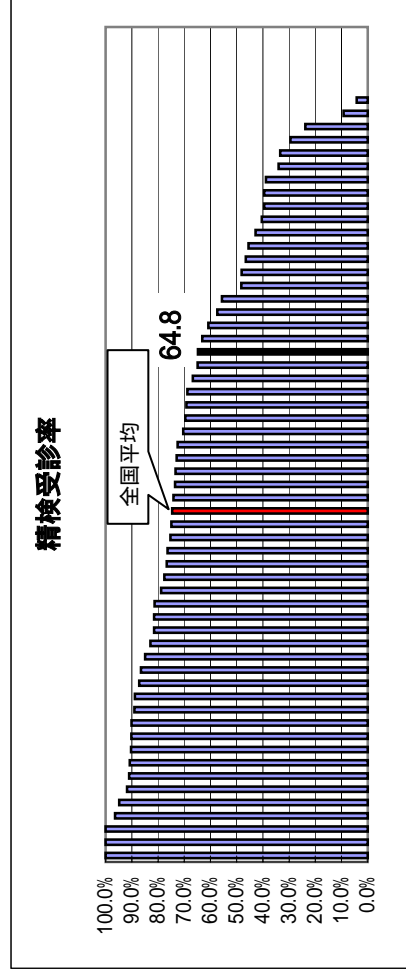
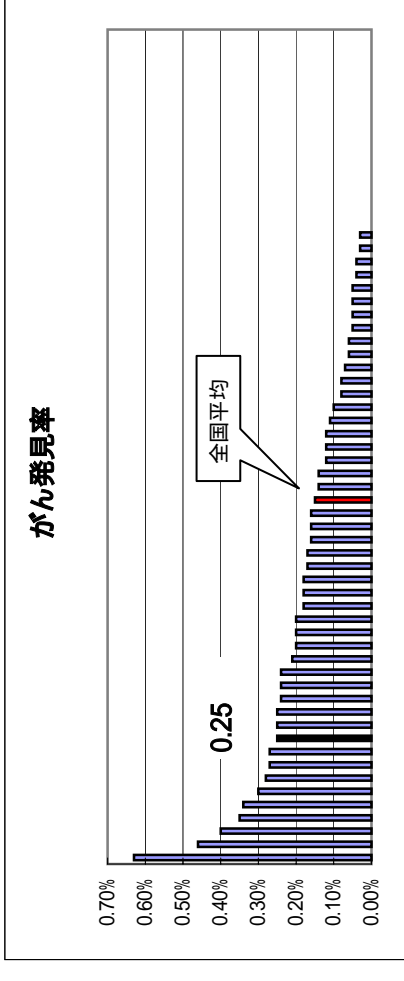
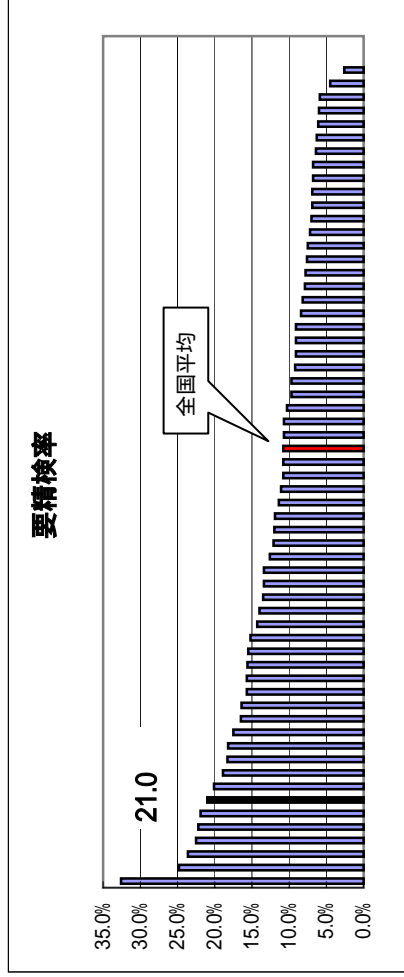
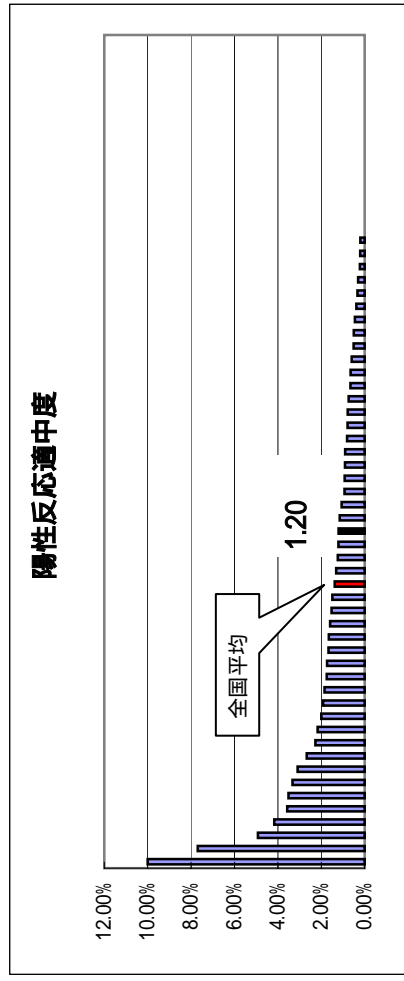
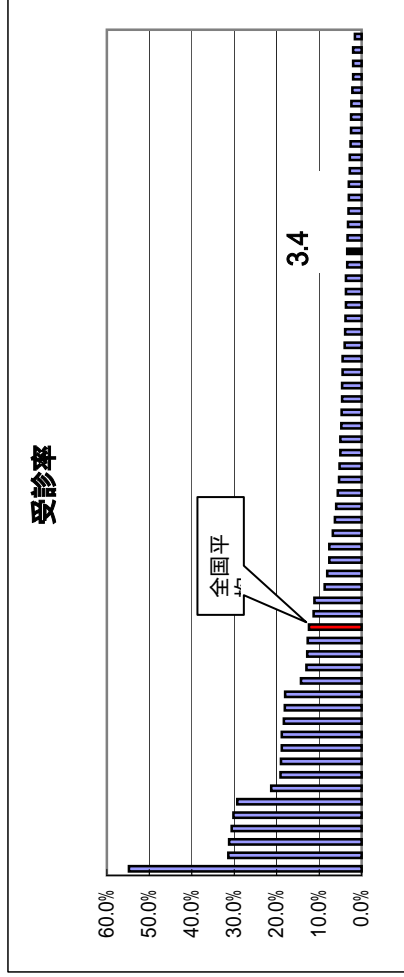
問22	受診率を出すのに、いつの時点の人口を使うのか。
答	老健事業報告時のものでよい。
問23	受診率の年齢構成について絶対人数が少ないので1%のずれが大きくなってしまふのだが。
答	人数が少なければ致し方ない。一番の問題は、がんの有病者が多い年齢層に対して年齢構成別受診者数のピークがやや若いかどうかであり、これを見てほしい。
問24	【胃がん、肺がん、乳がん共通】 2重読影について院内では1名だが、区の読影会に写真を持っていき、他の医師に診てもらっている場合は「はい」でよいか。
答	区の読影会で全例診ているのであるならば「はい」、一部の場合は「いいえ」となる。
問25	【精検受診率】 精検受診率で未受診かどうか分からないものは未把握か。
答	そのとおり(入力表欄外参照)
問26	精密検査の受診勧奨にホームページは入れるか。
答	入れない
問27	がん発見率を計算するにあたり、がんの疑いは入れるのか。
答	入れない
問28	【点検票】 点検票は、5か所以上の医療機関に配らなくてはならないか。
答	受診者の多い順に5機関で実施する。
問29	【点検票】 実施機関は多数あるが検査機関は1箇所である。5箇所とはどの様にすれば良いか。
答	実施機関については5か所、検査機関については1か所で実施する。検査機関に関する質問は、分母を1とする。
問30	【点検票】 区市町村が検査機関についても委託契約しているところが多いので、どう回答すればよいか。
答	下余白に検査機関との契約は行政で行っていることを記入し、検査機関へ直接チェックシートを配布する。
問31	【点検票】 検診実施機関用の点検表も提出する必要があるのか。
答	提出する必要がある。
問32	どうしても検査実施機関が回答しない場合、計算も分母に加えるか。
答	やむを得ないが、分母には加えてその理由を欄外に記入。
問33	【点検票】 複数の医療機関があるのだが、回答が3つしか得られなかった。
答	事情を聞いたうえで、3箇所のみであるならば、致し方ない。分母は5にして、欄外に理由を記載。
問34	【点検表】「受診者への説明」について 口頭でもよいか。
答	よい

問35	対象者が35歳以上の場合どのように記入するのか。
答	「35歳以上」と記入し、計算は40歳以上で行う。
問36	受診率等の数値は表記以下の位を四捨五入でよいか。
答	よい(小数点第2位を四捨五入)
問37	全国平均との比較で「全国と同値」とあるが、どのくらいの数字の範囲なら同値とするか。
答	完全に同数値のときのみ
問38	18年度の報告している数字と今回の事業評価の数字が違ってしまふ
答	違ってかまわない
問39	医療機関のチェックが付いていない機関が悪い機関という意味ではなく、この様に努力して欲しいと促す目的と捉えてよいか。
答	努力を促すとのスタンス。
問40	都が医療機関別に精度をみる事はあるのか。
答	今回の調査では「ない」
問41	記入はボールペンか。
答	はい
問42	提出先はどこか。
答	東京都多摩がん検診センター
問43	対策を考えていない場合には、未回答でよいか。
答	ぜひ考えて、記入する。
問44	チェックシートの訂正は保健所がおこなってもよいか。
答	よい
問45	委託先の要望により、内容に関する問い合わせ先を市としているがかまわないか。
答	委託先の名称が分かればよい。

# 胃がん検診事業評価結果(例)

東京都62区市町村における各指標の結果は次のとおりです。

# 区市町村名



・**検診機関精度の検討**:胃部エックス線撮影・読影に関する項目のうち、3項目が満たされていません。検診の質を保つには項目を満たしている必要があります。検診の委託時、胃部エックス線撮影・読影に関する精度管理に関する項目を確認し、項目を満たす検診機関の選択が必要です。・**要精検者の受診結果の把握**:精検受診率が64.8%と全国平均より低く、精検結果が確実に把握できていません。この点は、陽性反応適中度が全国より低い点に影響を与えています。医療機関から確実に情報提供を得られる体制の構築など、精検受診率の向上を図ることが必要です。・**報告時期の検討**:精検受診率が全国平均より低く、精検結果が確実に把握できていません。精検結果の回収時期や報告時期について検討しましょう。・**一次検診受診時の説明**:一次検診受診時における、精検方法や個人情報などの説明について1項目満たされていません。精検方法などの説明は精検受診率を上げる事にも繋がりますので対策が必要です。・**対象年齢の検討**:対象年齢が35歳以上となっておりますが、国の指針では胃がんは40歳以上を対象としています。対象年齢に関して、ご検討ください。・**がん検診の必要性周知と受診率の向上**:受診率の向上を図ることが必要です。最通知などについて御検討ください。